

てんけんくんが行く!!

首都高速道路の司令塔より出動!

～首都高速道路公団 編～



第6弾

首都高の中枢である管制室に「人間以外?!」が入ったのはこれが初めて!

業界のマスコットキャラクター「てんけんくん」がさまざまな場所へ突撃取材を行う「てんけんくんが行く」シリーズの第6弾。

我々の「安全」を守るため、命がけで闘っている男たちを取材した。

☆

てんけんくんは夏の日差しに目を細めていた。

見上げると高速道路の橋脚にとまった蝉がその命を謳歌している。その後ろに流れるラジオ。近所の民家から音が漏れているのだろうか、ノイズ雑じりの音声が蝉の主張と交響し、季節感を引き立てている。

ふと、ラジオが交通情報に切り替わる。どこかで渋滞が起きているようだ。

「…高速道路ってどうやって点検整備してるのかな?」そう呟くてんけんくんの足は、知らずと日本橋箱崎町にある首都高速道路公団へと向かっていた…。

さっそく首都高速道路上で巡回を行っている大島幸雄さんと宇田川宏明さんにお話を伺った。

☆

てんけんくん：（「ブンッ」ダンプカーがてんけんくんのすぐそばを走り抜け、一瞬間の間を置いて烈風がてんけんくんを襲う）こっ、怖い…。大島さん、宇田川さん…高速道路上でのお仕事ってどんなことをされているんですか?

宇田川さん：私たちは、お客様が安全に首都高速

道路を走行できるように、巡回を行っています。落下物が原因となる事故や事故車両が原因となる「二次的被害」を防ぎ、故障や事故等でお困りのお客様をサポート



運行前点検をする大島さんと宇田川さん。

トするため、現場で適切な処置を行うのが任務です。

てんけんくん：まるで高速道路の「管理人」ですね!!でも、目の前をものすごいスピードで車が通り抜ける高速道路上での作業、怖くないですか?

大島さん：怖いですよ（笑）。目立つように蛍光色の旗や反射素材が織り込まれた制服を着用していますが、気づいてくれないドライバーがいるかも知れませんしね。

しかし、どんなに怖くとも、お客様が安心して走行できるようにサポートするのが我々の仕事です。

てんけんくん：すごいカッコイイ!まさに命がけでみんなの安全を守ってくれているんですね。1日にどれくらい巡回業務をされているのですか?

大島さん：巡回業務は昼夜2交代制です。昼間は11台のパトロールカーで22回、夜間は7台で18回、合計40回の巡回業務を行っています。1回あたり約90km。年間走行距離数は1台あたり約10万km以上にもなるんです。地球の赤道一周が約4万kmと言われていきますから、パトロールカーは年間で地球の2周



みんなの安全を守ってくれる皆さんと記念撮影!
てんけんくんはちょっと緊張気味?



路肩駐車車両にも声をかける。故障等トラブルや急病で困っているかもしれないからだ。また、事故や渋滞など一般道以上に路肩駐車が周囲に及ぼす影響は大きい。

落下物回収作業をする大島さんと宇田川さん。鼻先をもすこいスピードで自動車駆け抜ける危険な場所での仕事だ。気を付けて！



落下物の木片を回収。落下物は意外と「空荷の貨物車」が原因となる場合が多いという。「荷物がない」という気の緩みが「ロープ」や「止め木」の落下につながる。



日本に2台しかないという小型高性能レック1車。幅の狭い場所でも作業ができるよう、車幅をスリムにしている。4t車まで吊上げる「小さな力持ち」だ。



「整備不良」と言われる「点検整備を行っていない」ことが原因です。高速道路での故障は渋滞の引き金となるだけでなく、大事故を誘発する原因となり、大変危険です。自動車の点検整備を行わないということ、それは自らの身を危険にさらすだけでなく、社会へ多大な迷惑と危険を与えかねないということです。自動車を運転する際には十分な注意と点検を行っていただきたいと思います。

てんけんくん：1日平均38件の故障って…ものすごく多くないですか？う～ん…まだまだ点検整備の大事さが伝わっていないのかなあ…。故障車への対応や処理ってどれくらい時間がかかるんですか？

宇田川さん：平成15年度、首都高速道路全体で発生した1件あたりの平均処理時間は、事故で60分、故障で51分が費やされています。我々はどういった交通事故の処理時間を短縮し、交通の流れを確保することを常に心がけています。故障車両によって、多くのお客様が迷惑を受けるだけでなく、危険に直面することもあります。皆さんもお出かけ前には必ず車の点検整備を是非ともお願いいたします。

てんけんくん：みんなの安全を守るため、命がけで働いている人って本当にカッコイイ！お話を聞いて点検整備はドライバーの最低限のマナーだって強く感じたよ！よーし、みんなに点検整備の大事さを広めなきゃ！

☆

「てんけんくん」の好奇心は止まらない。明日はどこに突撃するのか……(続く)

取材協力：首都高速道路公団

半を超える距離を走行していることになります。

てんけんくん：1年で地球2周半！スゴイ距離を走るんですね!!高速道路をそんなに走行するってことはパトロールカーへの負担は相当なものではないでしょうか？故障しやすいのではないですか？

大島さん：確かにパトロールカーへの負担は大きいと思います。しかし、車両のメンテナンスには特に気を遣っているため、故障はありません。定期点検整備や運行前点検はもちろんのこと、少しでも異常を感じた場合は随時チェックを行っています。

レスキュー任務の自分たちが、故障で逆にレスキューされては笑い種ですからね。

てんけんくん：さすがプロ！点検整備の大事さをわかっている人はかっこいいや！ところで、首都高で故障車はどれくらい発生しているんですか？

大島さん：首都高速全体では平成15年度の場合13,953件、つまり1日平均38件の故障車が発生しています。そのうち約60%がエンジン故障とパンクでした。エンジン故障の原因は多岐にわたりますが、エンジンオイルの減少によるエンジンの焼き付き、各種ベルト切れが多く見られますね。また、パンクについても空気圧のチェックや目視確認、運行前点検や定期点検をきちんと行っていれば防ぐことができます。少ないケースですが、オイル漏れ等で車両火災を起こすケースもあるんです。これらは俗にい



交通管制室。ここでは首都高速道路の状況を常にチェックしている。トラブルや渋滞をリアルタイムで把握、パトロールカーに指示を出す司令塔だ。ラジオでおなじみの交通情報もここからの情報をもとにして放送される。



大島幸雄さんと宇田川宏明さんが握手をしてくれた！てんけんくん嬉しいぞう！